

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～
	施策	38 文化財・郷土資料 ー歴史文化の継承と文化財の活用を進めまー
重点プロジェクト		
総合戦略	ふじみ野市への新しい人の流れをつくる	
主管課	教育部 社会教育課	評価責任者 内田 和明 評価日 令和7年6月2日
関連課	学校教育課	
目標	地域の歴史文化に多くの市民が興味や関心を持ち、歴史文化の継承がされるよう文化振興と文化財の有効活用を図ります。	
施策目標の実現に向けた取組	(1) 文化資源の保護と活用 ○ 市民や関連団体との協働による調査・研究や展示・講座の開催、情報発信等により、歴史文化に対する意識の高揚を図り、郷土の歴史文化の継承と文化活動を推進します。 ○ 地域学校協働活動を推進することで、地域住民とともに、歴史文化を学び、郷土に愛着を持つ子どもを育みます。 ○ 地域の様々な文化財を保存・活用し継承していくために、国や県、地域住民の理解・協力が得られるような継続性・一貫性のある文化財の保存・活用計画の策定を検討します。 (2) 資料館施設の改修対応 歴史文化の魅力を市民が学び、対外的に発信するために、文化資源の保護と活用を中心拠点となる施設へ向けた見直しや設計などを計画的に行い、整備に着手します。	

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	歴史文化に係る学習講座への参加人数						
		説明	歴史文化に係る学習講座などに参加した延べ人数。市民の歴史文化に対する意識の高揚を図る指標となるため。						
		単位	人						
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	2,370	2,380	2,380	2,390	2,400	2,400	2,450
		実績値	2,014						
	指標2	指標名	市民との協働事業の開催回数【総合戦略】						
		説明	市民との協働事業の実施回数。市民の歴史文化に対する高揚を図る指標となるため。						
		単位	回						
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値	44	46	48	50	52	54	56
		実績値	42						
	指標3	指標名							
		説明							
		単位							
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							
	指標4	指標名							
		説明							
		単位							
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							
	指標5	指標名							
		説明							
		単位							
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		目標値							
		実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	72,467	0	0	0	0	0	0
	人件費	106,035	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	8,469	0	0	0	0	0	0
	一般財源	170,033	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

	実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	【総合戦略】 展示や学習講座の開催	特別展「大井小学校150年のあゆみ～ふじみ野市の近代教育のはじまり～」や企画展「幾千年の時を超えて～機織りと染色/世界からふじみ野へ」等を開催した。また、学習講座としては、「ふじみ野市の中世」「上福岡で織られた『湖月』」を開催した。	地域の歴史を知ってもらうための情報発信により、市民に市の歴史を理解してもらえる機会を提供できた。小学校3・4年生対象とした「昔のくらしと昔の学校」の展示では、社会科授業の一環として有効活用を図れた。
取組②	【総合戦略】 地域学習の推進	学校で地域の歴史や民具を活用した体験学習が行えるよう、学校文化財展示室を文化財展示ボランティアと協働で設置した。	歴史民俗資料館教育普及事業の一部 郷土資料館教育普及事業の一部
取組③	【総合戦略】 地域の文化資源の有効活用	市指定文化財回漕問屋福田屋（福岡河岸記念館）や国登録有形文化財旧大井村役場等の文化資源を活用した特別公開を開催。回漕問屋福田屋特別公開12回。旧大井村役場を令和5年10月から常時公開。やさしい日本語でめぐるまちさんぽツアー事業を実施。	文化財展示室設置・活用事業の一部
取組④		特別公開と同時に資源を活かしたコンサート、古典芸能の公演、裂き織、箒作り、水引の体験学習を開催し、文化財にふれる事業を行うことができた。参加者からも好評であった（アンケート回答）。まちさんぽツアー事業は外国人への情報発信につながった。	歴史民俗資料館教育普及事業の一部 郷土資料館教育普及事業の一部 資料館の協力による文化財保護系の文化財保護事業の一部
取組⑤			

5. 評価

評価	
指標の達成状況	文化財資料の有効な活用を図る目的で、福岡河岸記念館の三階建て離れや旧大井村役場を利用した体験学習、コンサート、古典芸能の公演を行った。
順調	また、学校の教室を利用した展示室を開設するにあたり、資料館の収蔵品である地域の民具や土器が有効活用できるよう体験学習で活用した。これらの活動は学校、保護者、子どもたち、参加したボランティアからも好評で、継続して有効活用を図っていく。
行政資源の活用	市民ボランティアの協力を得てこれらの展示室開設準備や、福岡河岸記念館の特別公開を行うことができたことから、今後も文化財に対する市民の理解者を増やし、ボランティアの拡充を進めていきたい。
おおむね適切	文化財保護法では、地域の文化資源の保存と活用の推進がうたわれているため、引き続き文化資源の有効活用を推進していく。
取組の有効性	資料館から博物館への移行や改修整備に向けた検討を進め、施設や展示の設計を行った。
おおむね有効	
施策の効果	
効果が得られている	